

私がこの大学を志望したきっかけは、基本情報技術者試験でした。システム管理コースを選択し、基本情報技術者試験の勉強をしていく上で、情報セキュリティという分野に深く関心を抱くようになり、この分野をさらに深く学んで行きたいと考えていくようになりました。そして3年生の初夏頃、学校から配布された進路ノートを見てみると、過去の進学先にこの大学があるというのを目にしました。その後この大学を調べると、私が大学で学びたいと考えている情報セキュリティ分野に特化した学科を設けていることを知り、この大学を受験しようと決めました。

私を受験した方式は学校推薦型選抜というもので、評定平均や資格などの条件を大学側が提示し、それらを満たすことで学校長から推薦を得られるというものです。試験内容は小論文と面接でした。小論文では過去問から SNS や AI 技術などについて問われることを知ったので、それらに相当する問題を探して対策していきました。また小論文という括りの中で数学の問題も出されることも知ったので、高校範囲の復習などにも力を入れていきました。しかし、実際の試験では小論文に関しては過去問通りの出題されたのですが、数学の問題では xyz 空間内の図形の問題という今まで授業で触れてこなかった範囲が出題されたため、とても苦労しました。面接では、本番での緊張を無くすために、多くの先生方との練習を行ってきました。授業や部活でお世話になっている先生はもちろん、あまり関わりの持たない先生や校長先生などをお願いをし、多くのアドバイスを頂きました。そのおかげで、本番では緊張することなく話すことが出来ました。大学受験のアドバイスとして、資格取得と事前調査をしてください。大学受験において、基本情報技術者試験や日商簿記検定などの資格取得が必須となっている大学はある程度存在します。ですので、その大学に行きたいと思っても、資格を取得しておらず出願することが出来ないということもありえてしまいます。なので、まだ進路が明確に定まっていない人でもできるだけ多くの資格を取って進路に備えておくことをお勧めします。またそれだけではなく、資格取得をすることで自分の強みが1つ増え、自信にも繋がるので自主的に資格取得は挑戦していくべきだと思います。事前調査では、小論文では何文字なのか、どのような内容について問われることが多いのかなど、事前知識として知っておくと良いことは過去問やその大学のホームページなどを調べれば分かると思います。ですので、その大学についてよく調べ、本番に備えることも有効なことだと思います。また、過去先輩が受験された大学には受験レポートというものがあるので、担任の先生や進路の先生に聞いてみてください。最後に、この大学のように、距離が遠く通学や生活の問題で悩むということも起こると思いますが、本当に自分が行きたい大学ということを第一に考えて進路を決めた方が後悔を少なくできると思うので、自分の意見を一番に考えるようにすべきだと思います。良い結果で受験が終えられるようにこれから頑張ってください。